

情報公開文書

1. 研究名称

「免疫染色を利用した悪性リンパ腫の病理診断の精度向上に関する後ろ向き観察研究」

2. 研究の目的

免疫染色は抗原抗体反応を利用して、組織や細胞内の特定分子の有無や分布を可視化する方法で、正確な病理診断には不可欠な技術です。この研究は、リンパ腫（血管内リンパ腫など）に有用な免疫染色抗体を新たに発見し、病理診断の精度を向上させることを目的としています。

3. 研究の対象と方法

この研究は、主に京都大学医学部附属病院で行われますが、特に血管内リンパ腫については、非常にまれな疾患ですので、全国の病院から協力を仰ぎ、できるだけ多くの症例を集めて解析する必要があります。当院も協力病院の一つとして京都大学に診療記録データを提供する事になります。

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会および京都医療センター倫理審査委員会で審査を受け、院長の許可を得て実施しています。研究実施期間は実施許可日から3年間です。

この研究の対象となる可能性があるのは、当院において2000年1月1日から2022年12月31日に、血管内リンパ腫と病理診断された患者さんです。対象となる患者さんの検体を使用して新しい免疫染色法を実施し、最終診断結果等のデータと比較することにより、至適条件や診断精度を中心に検討します。患者さんのデータは通常の診療を受けていただく際に記録されるものを用いますので、特別に患者さんに御負担いただくものではありません。

4. 個人情報の保護

個別の同意書は頂きませんが、患者さんの個人情報は匿名化され、プライバシーは保護されます。この研究で得られた成果は、専門の学術集会や学術雑誌で発表されることがありますが、個人情報が外部に公表されることはありません。なお本研究の結果生じうる知的財産は京都大学に帰属します。

5. 問い合わせ先

本研究に対してご質問のある方、研究資料の入手・閲覧を希望される方、診断を受けられた方が意思疎通が十分にできない場合で、保護者もしくは身内の方でご質問のある方、もしくはご自身のデータを利用されたくない方は下記の当院研究責任者にいつでもお申し出ください。なお、もし研究協力を拒まれたとしても患者さんに不利益は一切生じませんのでご安心ください。ただし、すでに解析を終了し発表された結果は破棄することができない場合があります。

検体およびデータの使用目的と趣旨をご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

対応窓口、当院研究責任者： 森吉 弘毅

研究連絡先： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 病理診断科

075-641-9161(代表) kmoriyos@kuhp.kyoto-u.ac.jp